

## 5 文化について（問 27～29、報告書 p.130～138）

### 【結果概要】

#### ①担当課

総合政策部 文化振興課

#### ②調査目的

滋賀県が有している誇るべき文化、文化創作活動や芸術文化の鑑賞の状況についての調査を行うことにより、県民が誇りとして考えている文化や、現状での文化への関わり方を把握し、文化の保全・継承や文化に係る施策の推進の課題を探る。

#### ③調査結果の分析・考察

- 誇ることができる文化（問27、p.130）では、「有形文化財（延暦寺根本中堂、彦根城天守、彦根屏風等）」が64.3%で最も高く、次いで「魅力ある風景（近江八幡の水郷など水辺の風景、里山や棚田の風景等）」が50.8%となった。滋賀県の文化は、神社仏閣などの有形文化財から風景・景観をはじめとする自然環境まで幅広く、県民がこれらを誇りにしていることが示されている。
- この1年間にした文化創作活動（問28、p.133）では、「特にない」が37.0%で最も高いが、これを除くと「地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加」が36.0%で最も高く、伝統的な地域行事に対する県民の関わりが示されている。
- この1年間に鑑賞した芸術文化（問29、p.136）では、「特にない」が32.4%で最も高いが、これを除くと「美術（絵画、彫刻、書、工芸等）」が32.0%で最も高く、次いで「メディア芸術（映画、アニメーション等）」が29.1%となった。さらに、「ポピュラー音楽（ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等）」や「写真」「演芸（落語、漫才、浪曲等）」の割合も比較的高く、幅広い芸術文化への関わりがうかがえる。

#### ④今後の施策への反映

今回の調査結果から、大多数の県民が滋賀には誇るることができる文化があると考えており、滋賀の文化に魅力を感じていることがうかがえる。しかし、実際に文化創作活動や芸術文化の鑑賞を行うことについては、取組をしている方は活動の範囲が多岐にわたる一方で、「特にしていない」という回答が3～4割程度を占めており、滋賀の文化力をより向上させるため、さらに施策をすすめる必要があると考える。

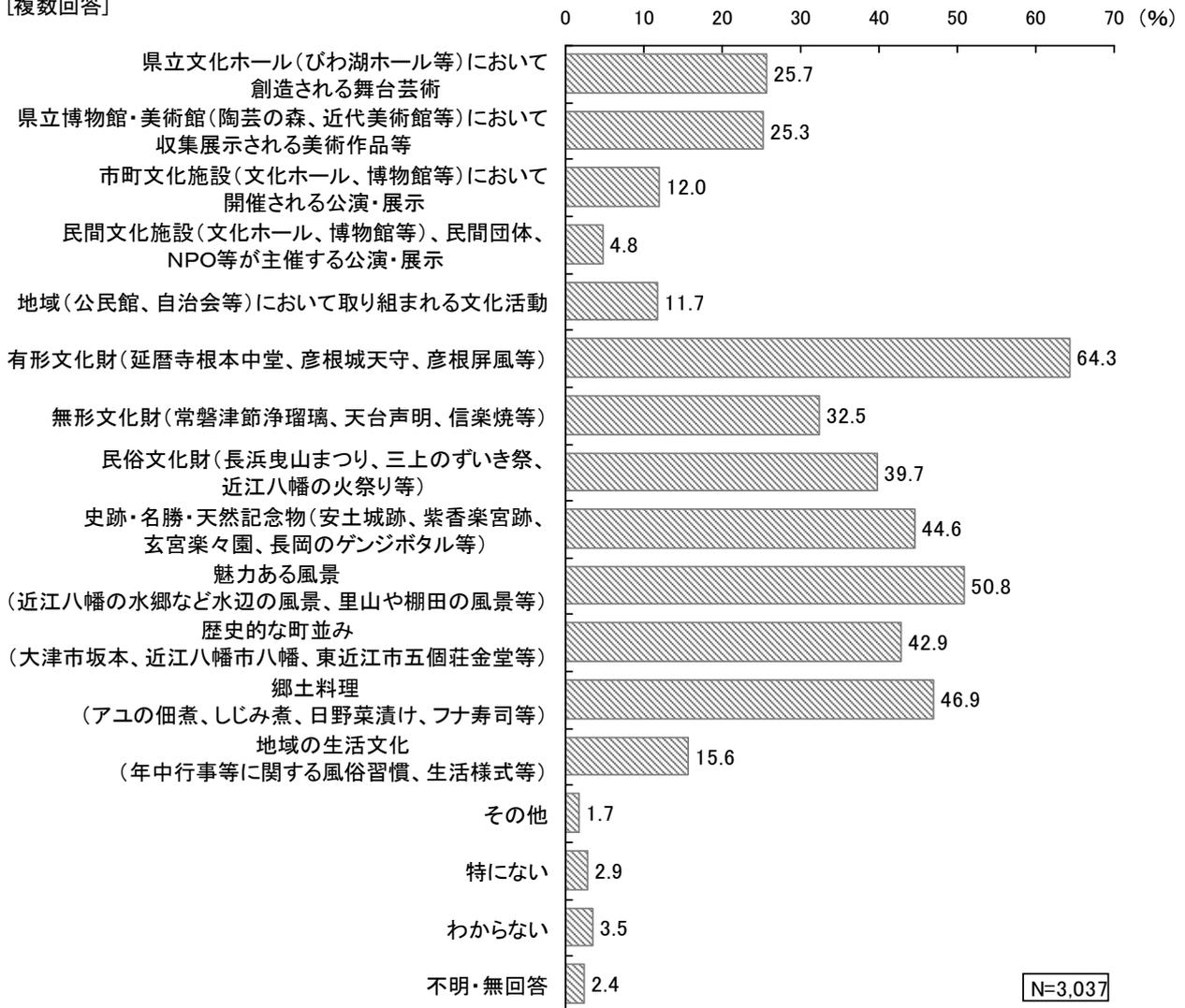
結果を滋賀県文化審議会に報告するとともに、滋賀県の文化振興施策の推進にあたっての参考資料として活用していく。

【結果表・グラフ】

(1) 誇ることができる文化

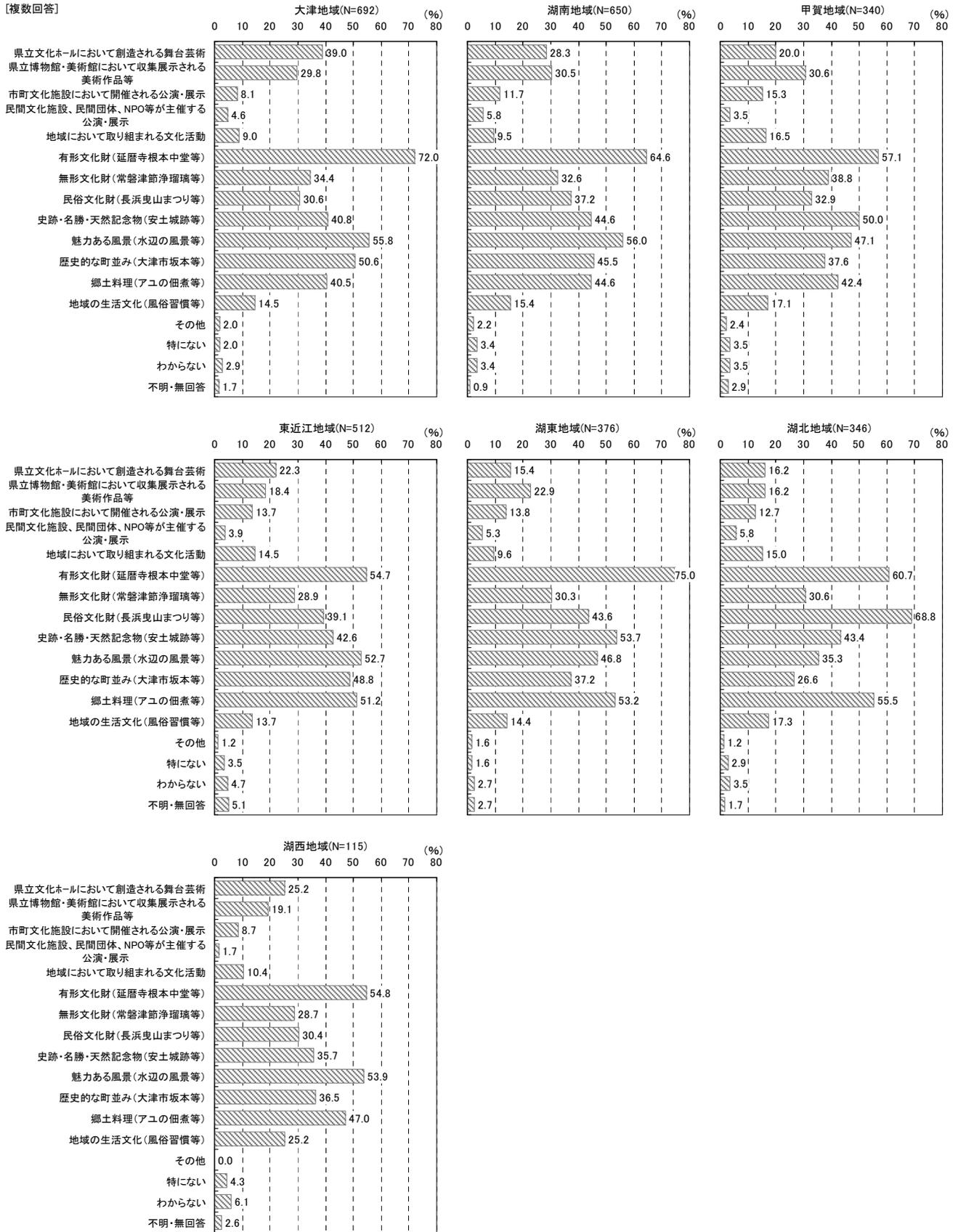
問27 滋賀県には、国内外に誇ることができる文化（多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など）があると思いますか。誇ることができる文化について、当てはまるものを選んでください。  
 (〇はいくつでも)

[複数回答]



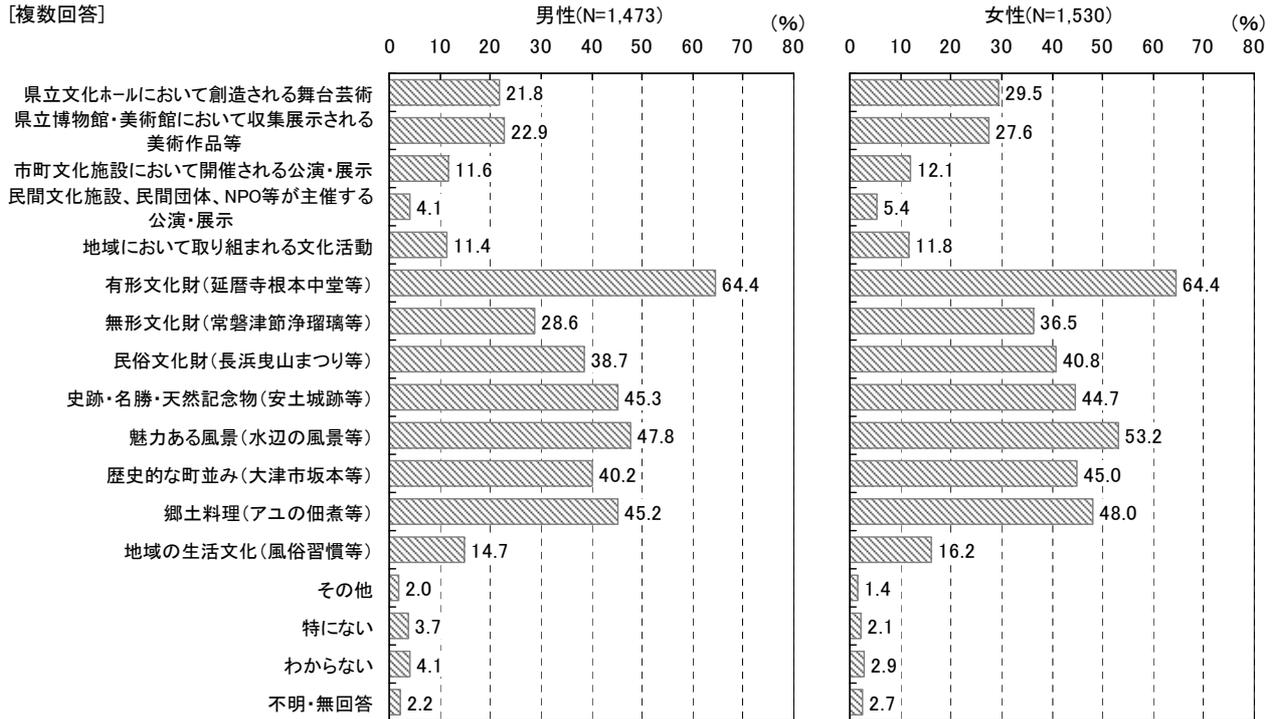
# 【地域別】

[複数回答]



## 【性別】

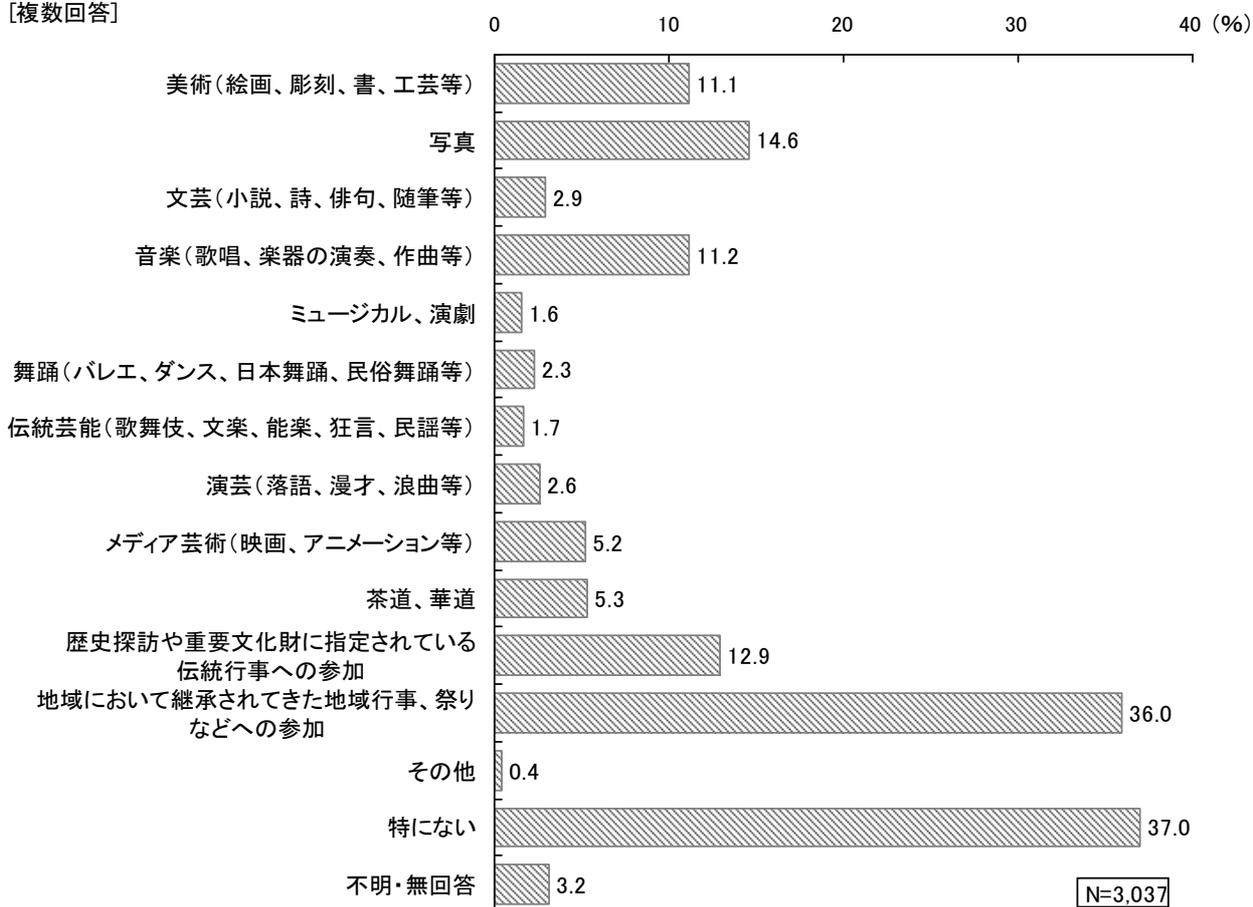
[複数回答]



(2) この1年間にした文化創作活動

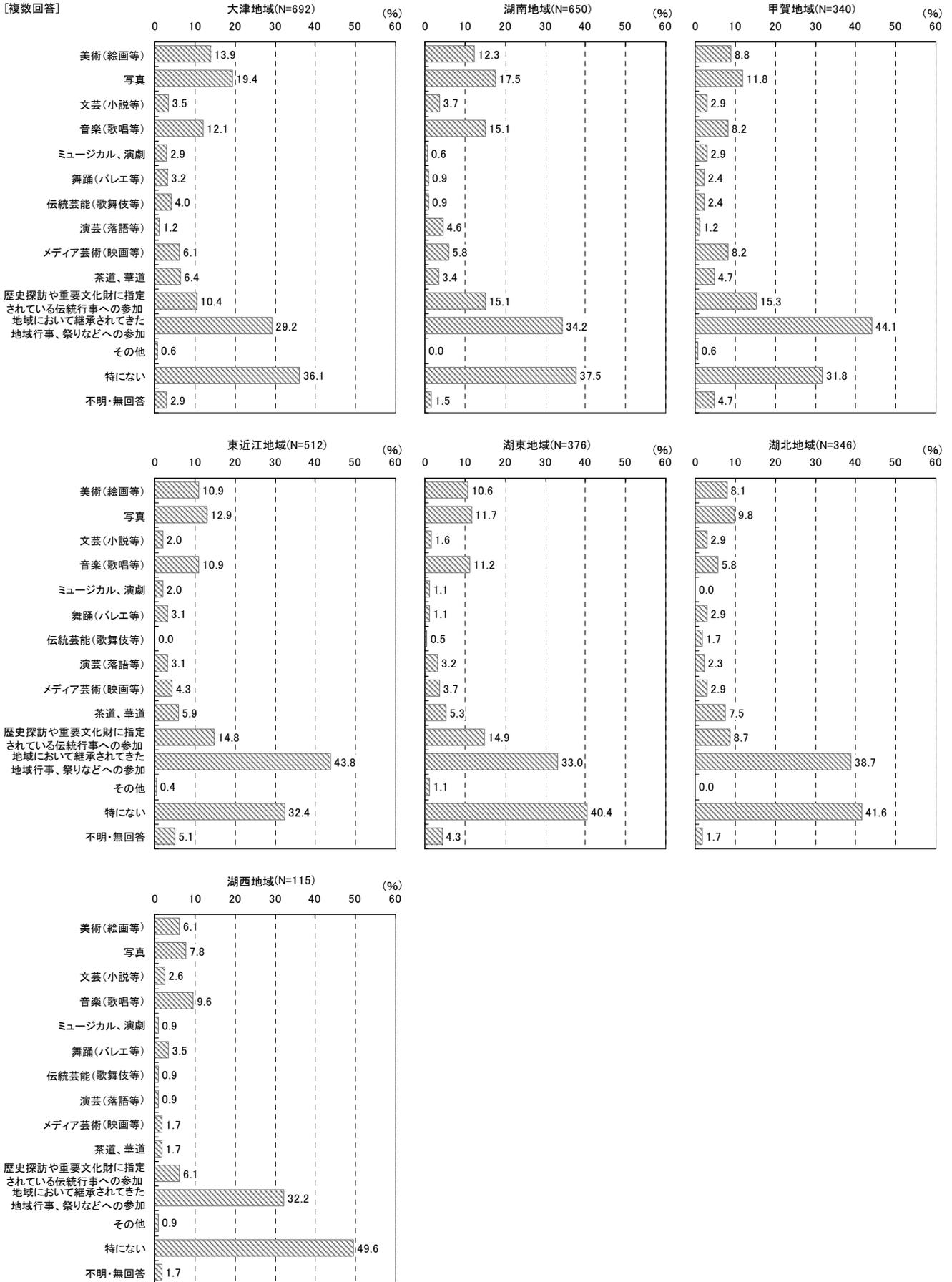
問28 文化創作活動について、この1年間にあなた自身がされたことをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

[複数回答]



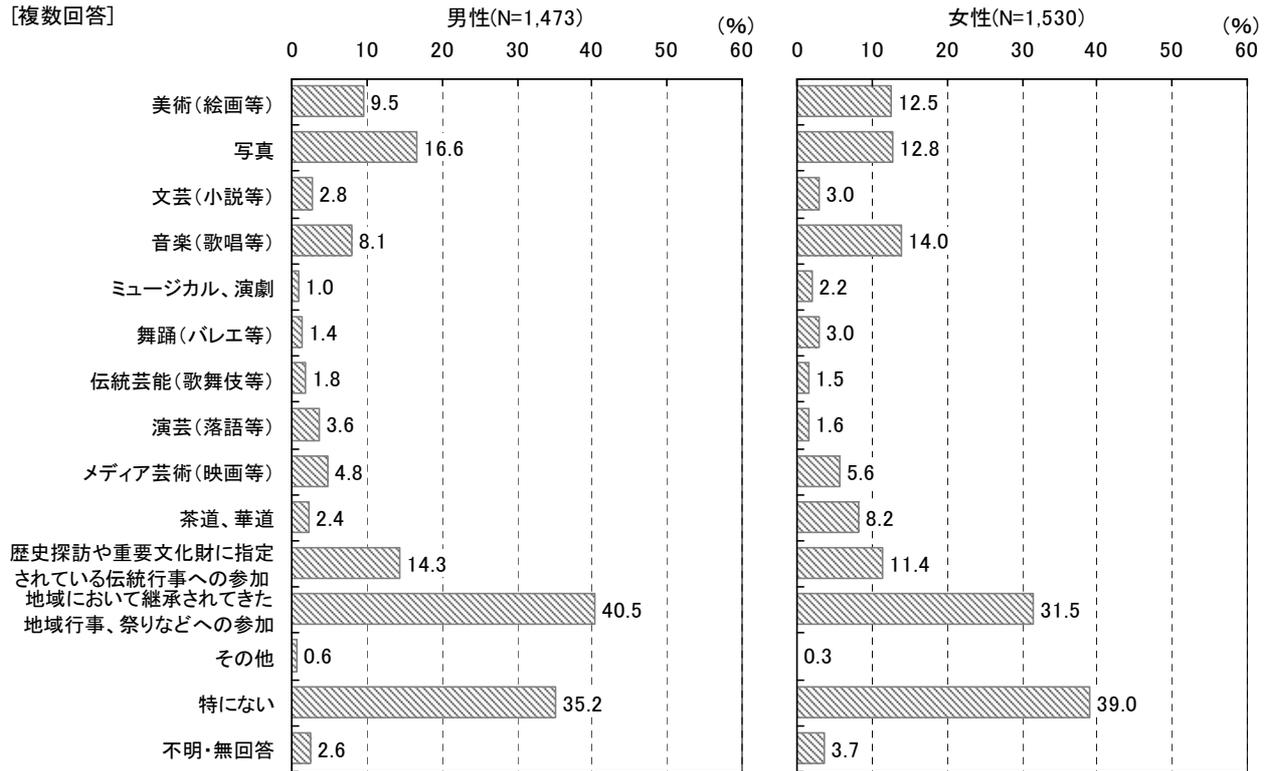
# 【地域別】

[複数回答]



【性別】

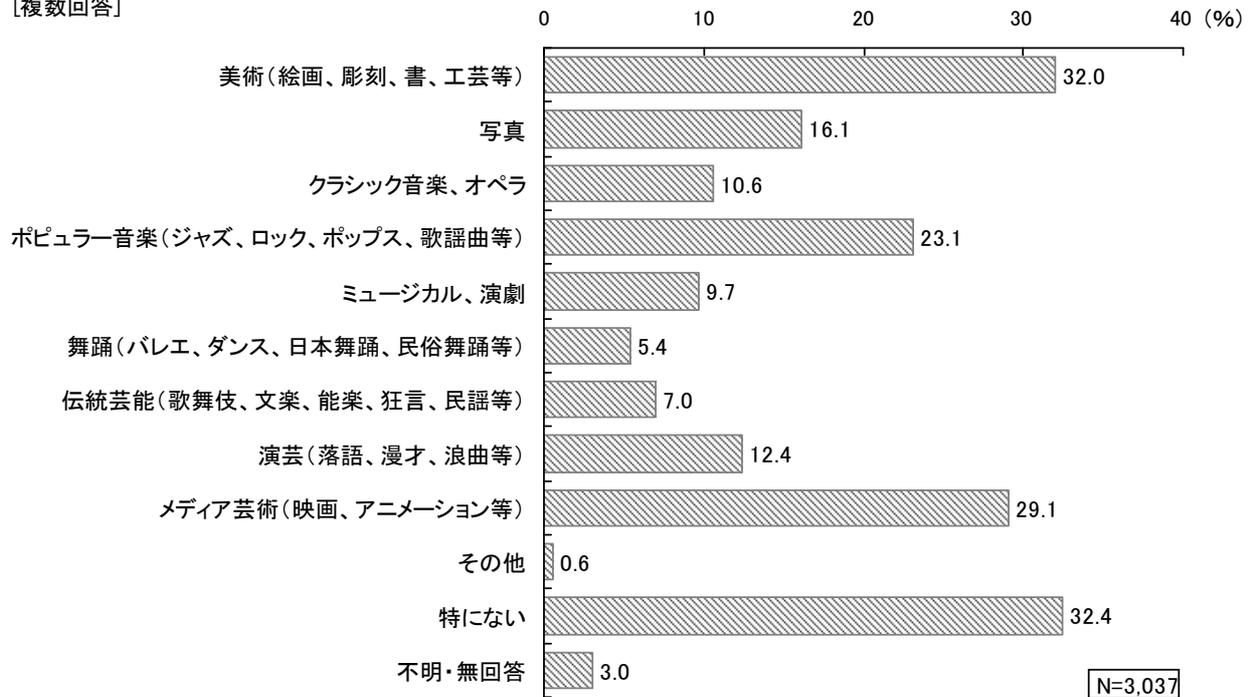
[複数回答]



(3) この1年間に鑑賞した芸術文化

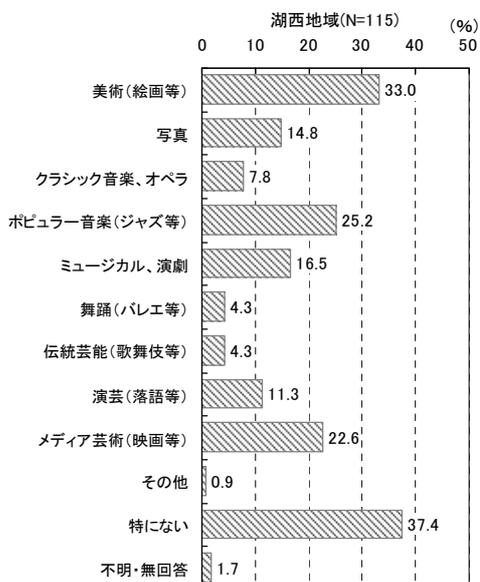
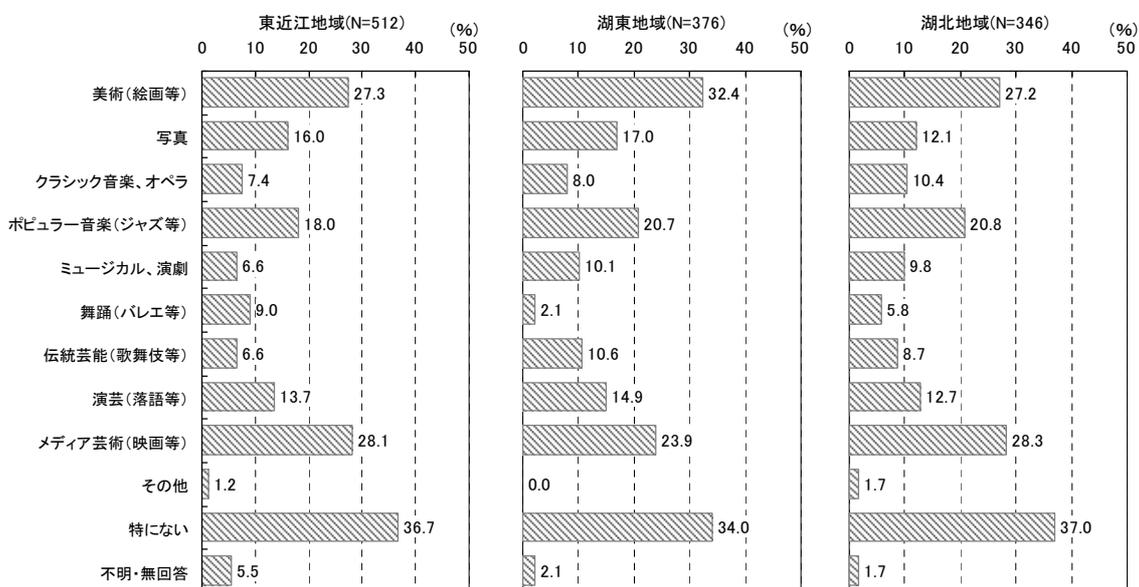
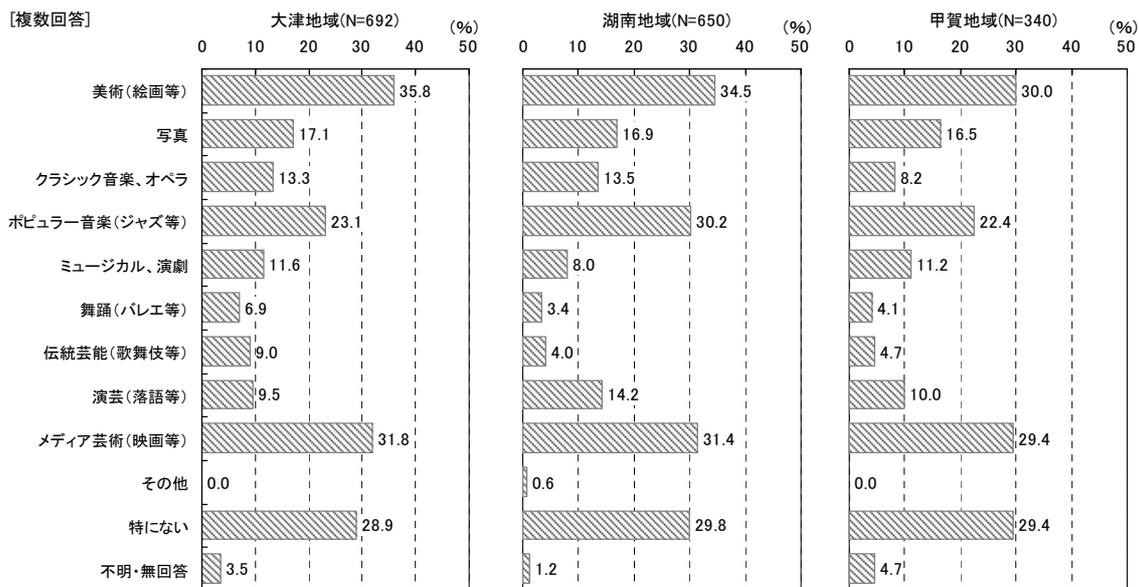
問29 芸術文化の鑑賞（テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く）について、この1年間にあなた自身が鑑賞されたものを選んでください。（〇はいくつでも）

[複数回答]



## 【地域別】

[複数回答]



【性別】

[複数回答]

